

こどもの家ご父兄、同窓生、ならびに同窓生ご父兄の皆様

先日は砂場建設懇願に当たっての署名運動に多くの方々にご賛同頂き、ありがとうございました。

署名と父兄1名からの手紙を持参し、園長先生、そして署名運動を率先して下さった2006年度父母の会会長のアニシッチさんと共に5月中旬、教会の理事会に出席し、砂場建設を懇願しました。その際に、アニシッチさんのご主人（エンジニア）が描いて下さった園長先生希望の砂場のデザインも持参したのですが、砂場は作るとしても、直径8フィート（既存のタイヤ砂場を一回り大きくした程度）までと理事長が思っているらしく、理事会では、父兄からの手紙を読み上げ、私たちの懇願内容を議題としてとりあげて頂きましたが、その後デザインなどを含めて理事会で検討するとのことで、私たちは中座しました。

後日、園長先生が個人的に、理事長に砂場のサイズの件で話し合いの場を持とうと試みたようですが、サイズの点では話し合えないと取り合ってもらえなかったそうです。そこで、園長先生の希望を叶えるべく、ご賛同頂ける方には、手紙や体験談、お子さんが砂場で遊んでいる写真等がありましたら、ぜひ提出して頂けますでしょうか？（デジタルでない写真は、スキャンしてお返しいたします。）お手紙は英語でなくても、日本語で書いて頂けたら、アニシッチさんが訳して下さいとの事です。

手紙を書いていただくに当たって、訴えて頂きたい点は、

以前のやぐら下の大きな砂場で、お子さんがどんな事をして楽しく遊んでいたか。

既存のタイヤ砂場では、サイズが小さくてその遊びができないこと。

既存のタイヤ砂場では物足りなくて、園児が畑を砂場代わりに生き生きと遊んでいた。

等、「既存の直径6フィートよりも大きい砂場が必要だ」という事を訴える内容であれば、何でも構いません。また、以前からの理事会からの意見や論点を考えますと、園からの砂が園児や父兄の靴の底に付いて、教会施設に持ち込まれるという点も、砂場建設反対の焦点と推測されます。その点に関しては、既に提出済みのデザイン画は、砂場の囲いを作ることによって砂が外に出にくいことを考慮したデザインとなっておりますので、その点は少なからずは以前とは違う状況になると訴える予定です。

教会の理事会の方々、園の保育時間内に子供達が園庭で遊んでいる様子を見た事の無い方がほとんどですので、いかに大きなサイズの砂場が子供たちの遊びにとって大切か、子供たちが

以前の大きな砂場でどんなに貴重な体験をしていたかを体験談として、より多くのご父兄や卒園生たちからの声をあげていく必要を理事会に出席した後、感じております。

ご賛同頂ける方は、どうぞ手紙執筆にご協力下さい。また、以前の砂場で子供達が楽しそうに遊んでいる（特に、ダム作りなど、以前の砂場のサイズならではのダイナミックな遊びをしている）ところの写真がないかどうか、ご自宅で探していただければと思います。

以前のやぐら下の砂場のサイズは約 36 フィート x 23 フィート (11m x 7m)。

既存のタイヤ砂場のサイズは直径約 6 フィート (1.8m)。

そして、園長先生のご希望は、新しい砂場を既存のタイヤ砂場がある場所に、畑とブランコの間の空いているスペースを目一杯使ったサイズ (17 フィート強 x 12 フィート弱、約 5.2m x 3.4 m) です。

この点でご質問がありましたら、私、中村好子かアニシッチさんを園庭で捕まえるなり、メールにてお問い合わせ下さい。

デジタル写真の提出先、ならびにメールでの手紙や質問の提出先は、アニシッチ久美子さん kumikoara@hotmail.com までお願いします。

私ごとですが、来週早々から日本に帰国する間、メールを頻繁に見られない可能性がありますので、連絡担当をアニシッチさんにして頂く次第です。

年度末のお忙しい時とは思いますが、今年度中に皆様からの声を集めることができたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

2009 年度 子供の家 父母の会 会長 中村好子